

# 新年のごあいさつ



剣淵町長  
佐々木智雄

町民の皆様、明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで新春をお迎えの皆様、心からお喜びを申し上げます。

皆様には、日頃町政の推進に対し、ご理解とご協力をいただきありがとうございますことに、心から敬意と感謝を申し上げます。

昨年の農業は、春の雪解けの遅れと低温、さらに夏の異常高温と多雨が、全ての作物に大きな被害をもたらし、農家の皆様にとつては極めて厳しい年になりました。

国政は、鳩山内閣から菅内閣へ代わりました。参議院選挙において与党が惨敗し、さらに政治と金の問題、閣僚の不適切な発言、機密漏洩、国際対応の不手際などにより正常な国会運営ができず、また、衆参与野党のねじれ国会により、重要な法案が全く成立できない状態に陥っております。

地方においての行財政は、国の

地域活性化交付金事業等により一部改善が図られましたが、依然として先が見えない厳しい状況が続いております。

そうした中で昨年の町行政は、学童保育所の新設オープン、定住促進勤労者住宅の建設、さらさらガーデンの公園造成、東中央団地公営住宅の建て替え事業、小中学校アスベスト除去工事、小学校バリアフリー化工事、第5期総合計画の策定、店舗近代化促進事業、町道東5線改良舗装工事、除雪専用車の購入等、重要な事業が計画通りに進めることができました。これれひとえに、町民や町議会議員皆様の深いご理解とご協力の賜であり、心から感謝を申し上げる次第でございます。

特に、子供達が待ち望んだ学童保育所をオープンすることができましたことは誠に喜びに堪えません。絵本の里にふさわしく愛称をみどりがくどう「つちのこ館」としました。また、玄関の内壁には、「第20回けんぶち絵本の里大賞」に選ばれた絵本作家の宮西達也さんが描いた恐竜の絵を一面に配置しました。施設の形と絵が子供達の想像を一層豊かにする

ものと思います。

街並整備事業の集大成として実施した「さらさらガーデン」の公園整備事業は、まちの駅、イベント広場と連携して、町民の憩いの場所としての役割を十分に果たすものと思います。

大雨や集中豪雨の被害復旧対策として、農地及び農業用施設小規模災害復旧事業補助条例を制定して対応しました。高温多雨湿害被害対策については、農家の被害が前年以上であることから、前年と同様に全農家を対象とする支援策を行って参りたいと思えます。

高速道路の無料化社会実験が行われ、アルパカ牧場は遠方からの観光客が増えましたが、道の駅の「絵本の里けんぶち」の利用客は激減し、道の駅の運営において大きな痛手となりました。

自主財源の乏しい地方自治体は、財源の多くを国からの地方交付税に頼るしかありません。その交付税特別加算について廃止の方針が打ち出されました。今後の地方財政は一層厳しくなっております。平成23年度の行政の運営に当たっては、人件費の削減、

補助金・使用料等の一部見直しをはじめ、施設の有効利用、事務事業経費の削減等に努め、健全財政を維持しながら、産業基盤の整備、教育・文化・福祉の均衡のとれた行政運営を目指していきたいと考えます。

基幹産業の農業は、平成23年度から戸別所得補償制度が完全実施されます。農家にとって生産意欲が向上するような施策になることを期待します。北海道の農業が壊滅するような、国のTTP参加は絶対に阻止しなければなりません。また、農地・水・環境保全向上対策や中山間地域等直接支払制度の活用促進、道営土地基盤整備事業北剣淵地区、畑地帯総合整備事業等の促進、パワーアツプ事業の継続要請に取り組みで参ります。さらには、後継者担い手対策、就農者育成制度の創設、研修生の受け入れ施設整備に向けた調査研究を進めてまいります。

農業以外では、街並整備事業に係わる店舗近代化促進事業は平成22年度をもって終了させていただきます。代わる事業として住宅改修等支援事業を新設する考

